

令和8年度



学校だより

令和8年9月30日

横浜市立市沢小学校

校長 白岩 敬之

電話 373-4511

FAX 381-7402

10月号 ～ 学校教育目標「市沢に生き、共に輝く子」～

前期の学習のまとめ

夏休みが明け、現在の学年の半分が過ぎようとしています。各学年学習や行事を経て成長を重ねています。



1年生：生活科「いきものとなかよし」神田公園に生き物を探しに行ったり、捕まえた生き物の育て方を調べたりして、自分から学習に取り組んでいます。



2年生：新江の島水族館の遠足に向けて、学年で集まり、みんなで考えたり決めたりした方が良かったことを出し合いました。



個別支援級：「うきうき！わくわく！まなびひろば」1年生と交流会をしました。学習したことをクイズやゲームにして、1年生に楽しんでもらいました。



3年生：理科「こん虫のかんさつ」のまとめとして、神田公園へ昆虫の様子を観察しに行きました。後期は学年で活動する機会が増えるため、みんなでいいねを伸ばします。



4年生：学年実行委員が中心となって学年目標のキャラクター「しあわせンジャー！」を誕生させました。後期はより学年目標を意識して、学年全体で成長していきます。



5年生：愛川宿泊体験に向けて、班の仲間と協働力を高める活動に取り組んでいます。仲間と創り上げていく充実感を得たり心地よさを実感したりしています。



6年生：1年生の音読発表会にお招きいただきました。がんばるあの子に送る優しい視線に、最高学年としての成長を感じます。交流って、素敵です。

★前期終業式・後期始業式

前期終業式・・・10月 9日（金）※全学年5時間授業

後期始業式・・・10月13日（火）

10月9日（金）には、「あゆみ」を持ち帰ります。お子様の学習状況を共にご確認くださいませようお願いします。ご覧になった「あゆみ」は後期始業式の日から15日（木）までに担任までご提出ください。なお、今年度より学習状況の文章記述は、年間を通して1回、後期にまとめています。よろしくお願いします。



★「土曜授業参観と市沢フェスタ」について

日 時：10月24日（土）

土曜授業参観：2校時(9:30～10:15) 3校時(10:30～11:15)

下校時刻13：10頃 給食を食べて下校となります。

市沢フェスタ：市沢フェスタ実行委員会主催（13:10開始）

地域の方たちと子どもたちのふれあい祭り（自由参加）

※雨天決行：屋内（場所限定）で実施。上履き持参、傘や靴は自己管理でお願いします。）

26日(月)は振替休日となります。

詳しくは学校から出されるおたよりをご覧ください。



★2年生出前授業の様子★



横浜 DeNA ベイスターズから2名のスクールコーチをお招きして、2年生の子ども達に「投げる」「打つ」の動きを教えてくださいました。

子ども達は、授業を通して、「野球っておもしろい」「もっとやりたかった」という声上がり、とても楽しい時間となりました。

★5年ふれあいコンサート★



みなとみらい大ホールで、オーケストラの演奏を鑑賞しました。迫力ある生演奏に耳を澄ませ、感動を味わいました。また、カップヌードルミュージアムでは、創り出す楽しさや工夫することの面白さを体験しました。



★学校納入金の引落とし★

後期分の学納金の引落としを、**10月13日(火)**に行います。前日までに入金をお願いします。なお、この日に引き落としができなかった場合には、10月26日(月)に引き落としを行います。ご準備よろしく申し上げます。

— 子どもたちを育てる温かなつながり —

学校長 白岩 敬之

朝夕に吹く風に、秋の気配を感じる頃となりました。子どもたちはそれぞれのペースで日々を過ごしています。学校では、一人ひとりの思いに寄り添いながら、安心して学べる環境づくりを進めています。

休み時間になると、事務室にはたくさんの一年生が集まっています。本校の事務職員が子どもたちと一緒に折り紙を楽しんでいるからです。雨の日も晴れの日も大人気で、事務室はまるで小さな折り紙教室のようです。折り紙を手にした子どもたちのうれしそうな表情を見ていると、こちらまで笑顔になります。この活動は、「子どもたちに喜んでほしい」「もっと子どもたちに関わりたい」という思いから自然に始まったものです。学校では教員だけでなく、事務職員をはじめ多くの職員が子どもたちを見守り、その成長を支えています。



また、月曜日と木曜日の朝には、運営委員会の子どもたちが校門に立ち、あいさつ運動を行っています。登校してくる友達や下級生に「おはようございます」と元気に声をかける姿は、とても頼もしく感じられます。先日、そのあいさつ運動を終えた後のことです。運営委員会の子どもたちが、一年生のアサガオの鉢が倒れていることに気付きました。すると、誰に言われるでもなく、鉢を起こし、元の場所に整えていました。その姿を見たとき、とてもうれしい気持ちになりました。

子どもたちは、日々の学校生活の中で多くの人と関わりながら成長しています。子どもたちを思う職員の気持ちに触れ、今度は子どもたち自身が友達や下級生を気遣う行動につなげている。そんな温かな場面に出会うたびに、市沢小学校のよさを感じます。子どもたちのために力を尽くす職員がいて、その思いを受け止めながら育つ子どもたちがいる。その温かなつながりは、本校の大切な財産です。

これからも、子どもたちも大人も互いを思いやり、共に輝く学校を目指していきたいと思います。